



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 愛眼株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9854 URL <https://www.aigan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々 昌俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々 雅彦 TEL 06-6772-3383
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,014	7.2	109	—	154	—	98	—
2026年3月期第1四半期	3,744	6.0	△87	—	△78	—	△101	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 69百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	5.06	—
2026年3月期第1四半期	△5.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	14,491	12,345	85.2
2026年3月期	14,286	12,276	85.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 12,345百万円 2026年3月期 12,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,191	2.4	290	40.8	345	44.6	284	76.8	14.66
通期	15,732	2.9	232	3.1	311	3.5	195	26.0	10.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	21,076,154株	2026年3月期	21,076,154株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,669,439株	2026年3月期	1,669,439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	19,406,715株	2026年3月期1Q	19,407,016株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰、調達コストの負担増、物価上昇などによる下押しリスクがあったものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢や金融資本市場の動向が経済に与える影響については、引き続き留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、「お客様の暮らしを、より快適に、より豊かにする企業となることを目指し、安心の技術、納得の商品、気持ちに寄り添うサービスを提供します。」を経営方針に掲げ、「見えること、聞こえること」の大切さを通じて自己表現の楽しさを感じていただき、顧客体験価値の最大化に取り組んでおります。さらに、当社グループはお客様のライフスタイルや趣味、ファッション、生活シーンに寄り添ったカウンセリングを行い、心から納得いただけるメガネ選びをサポートする「アイ・スタイリング・サービス」を実践しております。

当社グループでは、需要予測や店舗特性に応じた在庫管理の最適化と店舗運営の標準化を進め、収益性と資産効率の向上に努めております。さらに、プロモーション面では独自コンテンツを活用して集客力を高め、質の高い接客サービスと連動させることで顧客基盤の強化・拡大を図っております。また、店舗展開におきましては、立地選定の精度を向上させることで投資回収の確度が高い出店を優先しつつ、不採算店舗の整理を含めた店舗ポートフォリオの最適化を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,014百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は109百万円（前年同四半期は営業損失87百万円）、経常利益は154百万円（前年同四半期は経常損失78百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失101百万円）となりました。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

[眼鏡小売事業]

眼鏡小売事業につきましては、既存店を中心に主力品目のメガネにおいて、レンズ付き販売価格の引き上げに加え、超薄型レンズや撥水・UV等のコーティング、調光機能等のレンズオプションの提案販売が好調に推移いたしました。準主力品目の補聴器におきましては、お試しレンタルから購入につながる事例が増加したことで大幅な増収となりました。同じく準主力品目のサングラスは、目の健康維持や紫外線対策に対する意識の高まりを背景に、幅広い客層への販売につながりました。

また、プライベートブランドの商品開発に注力するとともに、アニメキャラクターやドラマ等のIP（知的財産）コンテンツを活用したメガネ・サングラスの開発も行い、高品質で顧客満足度の高い商品を拡充いたしました。さらに、新聞折り込みチラシやDM、雑誌、動画、WEB広告、各種SNS等の複合的なメディアを活用した情報発信や、店舗特性に応じたマーケティング施策の強化により、ブランド認知度の向上を図っております。店舗オペレーションにおきましては、タブレット端末の導入や接客サポートシステムの活用等のDX推進により、業務効率の向上と顧客接点の拡大に努めております。ネット通販事業におきましては、自社ECサイトに加え、楽天市場ECモールへの出店や取扱商品の拡大に注力いたしました。

人材教育面につきましては、従来の指導体制に加え、国家検定資格である「眼鏡作製技能士」及び補聴器販売に関する専門資格である「認定補聴器技能者」の取得を推進し、専門性の高い人材の育成に努めております。

この結果、売上高は3,922百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は113百万円（前年同四半期はセグメント損失84百万円）となりました。

[眼鏡卸売事業]

眼鏡卸売事業につきましては、新商品の投入や販売支援による既存取引先との関係強化、新規取引先の開拓に努めております。

この結果、売上高は91百万円（前年同四半期比4.9%減）、セグメント損失は4百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は14,491百万円（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。流動資産は、商品及び製品の増加、流動資産その他に含まれる前払費用の増加、現金及び預金の減少等により8,055百万円（前連結会計年度末比2.8%増）となり、固定資産は、有形固定資産の増加、投資有価証券の減少、敷金及び保証金の減少等により6,435百万円（前連結会計年度末比0.3%減）となりました。また、負債合計は支払手形及び買掛金の増加、契約負債の増加、流動負債その他に含まれる未払金の増加、未払法人税等の減少等により、2,145百万円（前連結会計年度末比6.8%増）となり、純資産合計は12,345百万円（前連結会計年度末比0.6%増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年5月11日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,593	4,527
受取手形	5	4
売掛金	793	806
商品及び製品	2,216	2,427
原材料及び貯蔵品	36	31
その他	189	259
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,833	8,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,011	1,023
土地	1,782	1,782
その他（純額）	259	287
有形固定資産合計	3,053	3,093
無形固定資産		
ソフトウェア	13	11
その他	2	2
無形固定資産合計	15	14
投資その他の資産		
投資有価証券	757	717
敷金及び保証金	2,444	2,433
その他	180	177
投資その他の資産合計	3,383	3,328
固定資産合計	6,452	6,435
資産合計	14,286	14,491

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346	428
未払法人税等	195	91
契約負債	346	362
賞与引当金	105	95
その他	492	659
流動負債合計	1,486	1,636
固定負債		
繰延税金負債	145	131
再評価に係る繰延税金負債	4	4
資産除去債務	322	323
その他	50	49
固定負債合計	523	508
負債合計	2,009	2,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	3,054	3,152
自己株式	△1,051	△1,051
株主資本合計	14,443	14,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308	279
土地再評価差額金	△2,475	△2,475
その他の包括利益累計額合計	△2,167	△2,195
純資産合計	12,276	12,345
負債純資産合計	14,286	14,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,744	4,014
売上原価	1,165	1,205
売上総利益	2,579	2,808
販売費及び一般管理費	2,666	2,698
営業利益又は営業損失(△)	△87	109
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	3	6
受取家賃	7	7
固定資産受贈益	—	23
その他	4	10
営業外収益合計	16	51
営業外費用		
固定資産除却損	2	3
賃貸費用	4	3
その他	1	0
営業外費用合計	7	6
経常利益又は経常損失(△)	△78	154
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△78	154
法人税、住民税及び事業税	21	56
法人税等調整額	1	△0
法人税等合計	23	55
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△101	98
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△101	98

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△101	98
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△28
その他の包括利益合計	28	△28
四半期包括利益	△73	69
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73	69
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,648	95	3,744	—	3,744
外部顧客への売上高	3,648	95	3,744	—	3,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12	12	△12	—
計	3,648	108	3,757	△12	3,744
セグメント損失(△)	△84	△2	△87	0	△87

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,922	91	4,014	—	4,014
外部顧客への売上高	3,922	91	4,014	—	4,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14	14	△14	—
計	3,922	106	4,029	△14	4,014
セグメント利益又は損失(△)	113	△4	109	0	109

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	40百万円	43百万円